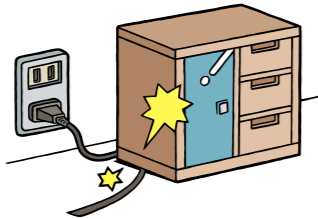




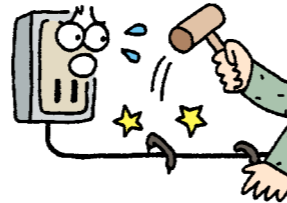
3 大切なコードの取り扱い

コードは家電製品と電源を結ぶ大切な用具です。断線や火災の原因をつくらないように大切に取り扱いましょう。

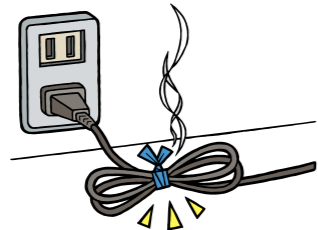
◆家具などの下敷きになっていると、断線や火災の原因になりますのでやめましょう。



◆ステップルで、柱や壁に固定したりすると、断線したり被覆線が破れ、火災の原因となりますのでやめましょう。



◆長いコードを束ねていると、火災の原因となりますのでやめましょう。



◆コードを引っ張るとコードが傷んで断線や火災の原因になるので必ずプラグを持って抜きましょう。



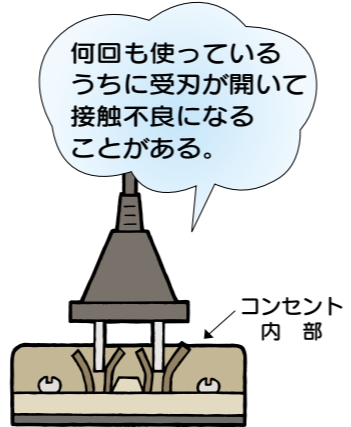
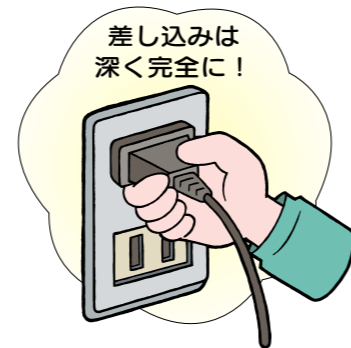
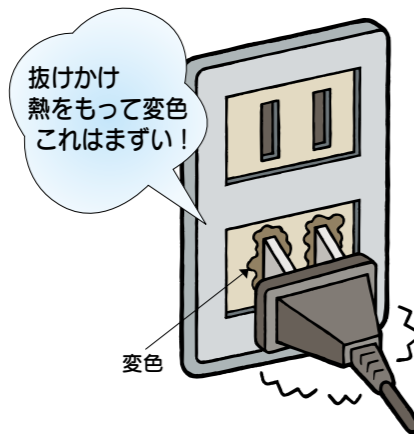
4 コンセント・差込プラグ

掃除機や電気ドライヤーなどの家電製品を使用するためには、電源コードのプラグをコンセントに差し込みます。

しかし、頻繁にプラグを抜き差しするコンセントや長年使用しているコンセントは、その内部が傷んでガタガタになりプラグを差し込んでも完全に接触していない状態になることがあります。

このような状態を放置しますと接触不良により、大変な結果を招きます。早めに取り替えるようにしましょう。

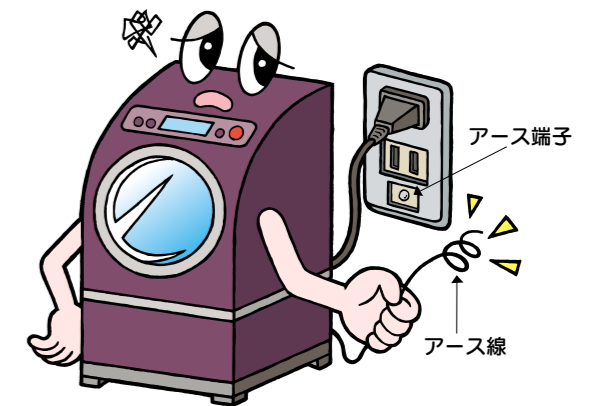
また、冷蔵庫の後ろにあるコンセントは時々点検(掃除)しましょう。



5 アースの取り付け

洗濯機や衣類乾燥機、エアコン、電子レンジ、冷蔵庫などには必ずアースを取り付けましょう。

アースは漏電した電気を大地に逃がし、感電などの危険を防いでくれます。



6 ぬれた手で電気器具を扱うと危険

電気を安全に使用するうえで、強敵になるのが湿気や水分です。

家庭の流し台付近、洗面所や風呂場などで電気器具を使うとき、ぬれたままの手でコンセントプラグ、家電製品(電気ドライヤー、シェーバーなど)に触れたときなど悪条件が重なると、ビリビリではすまないことになりかねません。

面倒がらずに乾いた状態で扱うようにしましょう。



ぬれた手は危険です!

